

---

# メール

岩浅果奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

メール

### 【Nコード】

N8427A

### 【作者名】

岩浅果奈

### 【あらすじ】

この作品は、おそらく詩の類だと思われます。「静かな夜。ぼうつと携帯を眺める私。いつもはくるメールがこない。一度だってこない日なんかなかったのに。どうして…？」遠距離恋愛中の落ち着かない夜のお話です。

## （前書き）

遠距離恋愛中の作者の日記より作品化。もちろん、ノンフィクションです。

真夏の夜。

月は明るいけれど、

闇の時間。

ただ静かな時が流れる。

ベットの上でぼうつとする私。

携帯を眺めては、

溜め息をつく。

メールがこない…。

いつもなら、

朝起きて一番のメール。

お昼休みにくるメール。

夕食の後にくるメール。

寝る前の、

おやすみという言葉。

例えば私がどんなに返事をしなくても…。

気付くといつも、

必ずあった。

彼と私を繋ぐもの。

一緒にいなくても。

気持ちを伝えてくれるもの。

付き合い始めてから、

こなかった日は一度もなかったね。

でも、

今日はこない。

私がすねて、

無視していたから？

だから何も送ってくれないの…？

きつと私が悪い…。

だけど。

あなたは今日一日何を考えていたの？

すねていた？

それとも、

ただ忙しかった？

時計は夜中の2時を差す。

今、あなたは何を考えているの？

今はもう寝ているの？

さみしくさせないで？

思うだけじゃ、答えてくれない。

伝えたいけど、

素直じゃない。

意地っ張りだけど、

たえられない。

だから、

「何もこないね。」

ただ一言の短いメールを送って、

眠りにつく…。

目を覚ますと、朝。

青く光る、

けーたいのランプ。

メールがきている。

3時。

「まだ起きてる?」

3時40分。

「もう寝ちゃったのかな。愛してるよ、すごく。おやすみ。」

そして、

いつもの時間。

「大好きだよ。」



（後書き）

この日、けっきょく彼はすねていただけなんだそうです。悩んだわたしは一体？（笑）：荒削りな作品を読んでくださった皆様、ありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8427a/>

---

メール

2011年1月16日06時32分発行